

羽 翔 はばたき

No.26



[発行者]
一般社団法人 千葉県ビルメンテナンス協会
千葉市中央区登戸1-24-1(ビルメン会館)
TEL 043-238-1156
発行日 令和5年3月1日
URL <http://www.c-bma.or.jp/>



部会・委員会だより

清掃技術委員会

ビルクリーニング技能検定受検

開催日 [1級] 令和4年11月29日(火)・
30日(水)・
12月3日(土)
[2級] 令和4年12月4日(日)

会場 千葉県ビルメンテナンス協会 研修室

参加者数 [11/29]5社8名 [11/30]5社8名
[12/3]5社8名 [12/4]2社5名

11月29日～12月4日にかけ、千葉県ビルメンテナンス協会 研修室においてビルクリーニング技能士受験に対する講習を実施致しました。

ご承知のとおり現在は複数等級化され1級から3級まで設定された検定であります、今回3級の講習申込は無く1級10社24名、2級2社5名の申込結果であります。

受講生におかれては検定日の差し迫る中、一生懸命課題を練習されておりましたが、もう少し事前練習・課題についての読みをお願いしたいと感じております。当協会では受講生全ての方に合格して頂けるよう努力しておりますので、ご協力よろしくお願いします。

最後になりましたが皆様の吉報をお待ちしております。

■ 清掃技術委員会 副委員長 /
千葉ビル・メンテナンス株式会社
大江 優一

会長挨拶

一般社団法人
千葉県ビルメンテナンス協会

会長 大竹 清治

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶申し上げます。
日頃より、千葉県ビルメンテナンス協会の運営に御協力を頂き誠にありがとうございます。

2022年は、新型コロナウイルスの

早期収束を願つておりましたが、第8波を迎へ、感染対策を継続しながら「ウィズコロナ」を常態とし、最低賃金の引き上げ、エネルギー価格の高騰、物価高騰の中での経済活動を強いられた年であります。このような状況の中で、全国ビルメンテナンス協会としては、新たな資格の創出(感染制御衛星管理士)IICC、全国ビルメンテナンス政治連盟と協業し官庁物件における年度内での契約金額の見直しを容易に出来るよう、厚生労働省通知文書として関係省庁へ発布されており千葉県協会としても千葉県ビルメンテナンス世話人会(県議会議員)を通して通知文書の徹底をお願いしている所です。又、中小企業庁においては、大

企業も中小企業も付加価値に基づく適正な取引を尊重する機運を醸成するために「パートナーシップ構築宣言」に取り組んでおり、1万社を超える企業がすでに参加表明しホームページに公開されています。

2023年は、厳しい経済環境の中、企業の大小にかかわらずサプライチェーン全体の共生共栄という機運がさらに高まつくると思われます。

千葉県協会としては、新型コロナウイルスの影響により令和5年新年賀詞交歎会を中止とさせていただきましたが、ZOOM等のコミュニケーションツールの更なる活用、全国協会が提供するE-Learningを中心としたスマートな資格試験講習事業の提供等により、会員であるとのメリットを感じることができます。引き続き宜しくお願ひ申し上げます。



京葉支部 |

●ボウリング大会（船橋市/西船ストライカーズ）

開催日 令和4年11月24日(木) 参加者数 26名

コロナ禍のため各行事が中止となっていましたが、久しぶりのボウリング大会開催で親睦を深め、今回は賛助会員の株式会社ケービーエスの代表取締役 嶋村英樹さんが優勝されました。



令和5年度は社会奉仕活動等色々な事業を実施したいと思っております。

■ 京葉支部長 / ニュ一船橋株式会社 横瀬 教之

東葛支部 |

●令和5年賀詞交歓会（柏市/ホテル・クレスト柏）

開催日 令和5年1月26日(木) 参加者数 12社25名

令和5年賀詞交歓会が開催されました。18時30分、司会の下山支部監事の進行で開会され、原東葛支部長の3年ぶりの開催でしたが沢山の参加者で出来、今年1年は今までコロナ禍で支部活動が出来なかった秋に行っていた奉仕活動と恒例のボウリング大会の開催を進めて行きたいと挨拶され、続いて当協会から斎藤専務理事が来賓として挨拶されました。

そして森田支部幹事による声高らかに乾杯の発声があり宴が始まりました。会食の合間には参加者同士で名刺交換もされました。

会食中にアトラクションが始まり柏市出身の歌手の『海老沢 茜』さんによるオリジナル曲や森高千里さんのカバー曲などアンコールを含めて約30分歌い上げ、各テーブルを回ると参加者より心付けが渡されハイタッチで茜さんも笑顔で答えていました。

アトラクションに引き続いて福島県の大吟醸など2人に1人が当たるという抽選会が原支部長のくじ引きで始まり一喜一憂し宴も終焉を迎え土屋協会理事の中締めの発声にて約2時間の楽しいひと時が終わり、余韻が冷めやらぬ参加者の中にはこの後、夜の柏の帳（とばり）に繰り出して行ったとか……

■ 東葛支部長 / 柏ビル管理株式会社 原 隆志

労働安全衛生標語 表彰式

前号にてご紹介した労働安全衛生標語の受賞者への表彰式が令和5年2月21日に行われました。

おめでとうございます。

コロナ禍のため、昨年と同様にビルメン会館にて執り行われました。



北総支部 |

●社会奉仕活動（銚子市/君ヶ浜海岸清掃）

開催日 令和4年11月8日(火)

参加者数 10社16名

支部計画に基づき奉仕作業を実施しました。コロナ禍により3年ぶりの開催となりましたが、屋外で作業のできる海岸清掃を実施しました。小春日和で潮風が心地良い中、久しぶりに北総支部の皆様との交流が図れるとともに、短時間ではありましたがあ、海岸に散乱したごみを回収し、無事に作業を終えることが出来ました。参加の皆様、ありがとうございました。

■ 北総支部長 / 京成ビルサービス株式会社 小池 謙治



設備技術委員会

貯水槽清掃作業従事者研修会 「地域の防災対策について」

開催日 令和4年11月22日(火)

会場 ビルメン会館2階 参加者数 5社10名

千葉市総務局防災対策課 講師より最新の防災知識を御講義頂きました。

地震や台風被害だけでなく近年はゲリラ豪雨による甚大な被害の発生状況を目の当たりにし自助・公助の重要性や避難所及び防災用品の活用方法等を学びました。



■ 設備技術委員会 / 株式会社協栄 中川 透

貯水槽清掃作業従事者研修会習会(第2回目)

開催日 令和5年2月8日(水) 会場 千葉市民会館4階 第1会議室 参加者数 8社16名

從来、年に1度6月に開催しておりました本研修会ですが、貯水槽清掃作業従事者にとっては、繁忙期に入り、日程調整がつきにくいとの要望があり令和元年度より年2回実施しております。

例年、受講者が少なかった研修会で協会会議室での開催を予定しておりましたが、思いのほか参加者増えたため会場を変更しての開催となりました。

講師の方には、6月開催のカリキュラムと同じ各法律に照らし合した研修内容をお願いし、安全と作業性、受託した作業の利益管理など、研修にきた皆さんにはどれもが上手く行かないと、自分だけではなく会社自体のあり方も問われる研修内容でしたので、当たり前のことは普通にできる作業従事者を目指していただき、今後も『安全』作業に従事してもらいたいと思います。

また、令和5年度も6月と2月の研修会開催を予定しておりますので、より多くの方が受講されますようお願いいたします。

■ 一般社団法人千葉県ビルメンテナンス協会 事務局

普通救命講習会

「普通救命講習会3時間コース」

①心肺蘇生法(AED自動体外式除細動器)

②止血法

開催日 令和4年11月22日(火)

会場 ビルメン会館2階 参加者数 5社6名

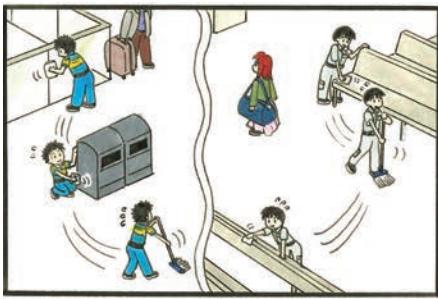
公益財団法人千葉市防災普及公社 講師よりガイドライン2020版の心肺蘇生等を学びました。新型コロナウイルス感染症流行期の一次救命処置(BLS)の手順や携帯電話等から

119番通報した時のハンズフリー機能を利用した方法などが改定されており、手技等は5年に1度見直しが行われるため継続した受講の必要性を認識しました。



■ 設備技術委員会 / 株式会社協栄 中川 透





三栄メンテナンス株式会社さんのご協力のもと「New翔第1号」より連載しておりました4コマ漫画「さんちゃん」が今号をもちまして最終回となります。

9年間にわたり作成していただきました、作家：遠藤摩理恵様、本当に長い間ありがとうございました。



役員および委員の表彰

令和4年度 厚生労働大臣表彰
(建築物環境衛生功労者)

横瀬 教之 副会長

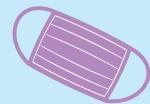
令和4年度
公益財団法人
日本建築衛生管理教育センター
会長表彰

下山 良樹 清掃技術委員



トピックス

コロナ収束に思う



昨年私はコロナ禍の中、50年ぶりに母校の野球応援に駆けつけました。

久々に聞く校歌鳴り響くドラム、トランペットの音。しかしその校歌はテープでフレーフレー……、かつ飛ばせ……、の応援団の声もなく、その代わりにドラム、トランペット、等の音が代弁し、全てを表現するかのごとく、響きわたっていました。あらゆる競技にもいえる事ですが、

もしそこに大声援があったなら、もっともっと選手の後押しができただろうと思います。そして、ビッグパフォーマンスも生まれたのではないかと思いました。

新型コロナウイルス感染拡大が始まり3年の月日が経過し、本年5月8日より季節性インフルエンザと同類の「第5類」へと引き下がる事が決定されました。あらゆる社会生活の制限が徐々に撤廃される事になるわけです。

まさに、夜の明けない朝は無いと言いますが、3年間の非日常社会の体験が全て従来の社会に戻す事が正しいのか検証していくなければならないと考えます。これから本来の日常に戻るわけですが、日本国民の一人一人がもつ意義や行動が大きく変わってイノベーションが必要な社会を迎える事になると想像します。新しい時代の幕開けに勇気をもって大声援で向かって行こうじゃありませんか。

企画広報部会 部会長 / 千葉ネスコ株式会社 中村 欽一

編集後記

高齢者が運転する自動車事故が近年増えています。人が年齢を重ねていけば視力の低下や体の反応速度等が衰えていくのは当然のことだと思います。また、自動車技術の進歩も著しく、アクセルやブレーキの踏み間違い、前方不注意による衝突事故などは、安全装備が作動し、ある程度自動で回避してくれます。ただ、最終的には運転者が操作することに変わりはありません。自分の運転技術を過信せず、余裕を持った運転を心掛けていきましょう。

企画広報部会 部会員 / 新生ビルテクノ株式会社 原田 明秀